

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（令和3年度実施計画分） 効果検証について

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費（円） | 実施状況 | 効果検証 |
|----|-------------------------------------|--|----------|----------|-------------|---|---|
| 1 | e-ラーニングシステム更改事業 | e-ラーニングシステムで使用するサーバの更改 | R3.11 | R4.3 | 1,184,700 | 令和4年3月に仮想サーバ群へのシステム構築、コンテンツ作成端末の設定が終了し、運用を開始した。 | 仮想サーバ群に構築したシステムを使用することで、集合研修からコロナウイルス感染防止対策（3密の回避）が整ったオンライン研修へ移行ができた。 |
| 2 | 県内マイクロツーリズム推進事業 | 市内を6つのエリアに区分し、2エリア以上に宿泊してスタンプを獲得することにより地場産品等が当たる「泊まっておトクラリー」と、企画乗車券や、シェアサイクル、体験プログラムの料金を割引く「遊んでおトク割引」の実施 | R3.7 | R4.2 | 29,147,862 | 【泊まっておトクラリー】 参宿泊施設：71施設 エントリー状況：777名（A賞95名、B賞124名、C賞558名） 【遊んでおトク割引】 乗車券等割引数：7,548件 体験プログラム割引：5,682件 | 【泊まっておトクラリー】 エリアを区分したことにより、一部地域に偏ることなく市全体で約8,500人泊の宿泊を生み出し、各地域の観光消費に寄与した。 【遊んでおトク割引】 約13,000名の利用があり、市内周遊促進に寄与した。 |
| 3 | 団体旅行等誘致事業 | 本市を目的地とする募集型企画旅行を催行する旅行会社等に対するバス・タクシー台数に応じた補助金の交付 ○補助額 市内宿泊 10万円/台 市内宿泊なし 5万円/台 市内発着ツアー 2万円/台（バス） 1万円/台（タクシー） | R3.10 | R4.3 | 11,993,490 | 交付件数：37事業所 内 訳：市内宿泊 10台 市内宿泊なし 181台 市内発着 1台（バス） 申請期間：令和3年11月1日～令和4年2月28日 | 旅行会社への補助により、落ち込んでいた募集型企画旅行の再開を促し、市内観光施設等への送客を支援することができた。期間中まん延防止等重点措置の適用により補助事業を停止したため、多くのツアーが補助対象外となったが、募集時点では多くの申請を得られ、高いニーズを確認することができた。 |
| 4 | 地域型宿泊誘客事業支援助成 | 市内宿泊事業者が中心となった団体が実施する誘客事業に対する助成 ○補助率 10/10～2/3（補助上限：団体内の宿泊施設定員数×10,000円） | R3.12 | R4.3 | 46,585,510 | 交付件数：2件 申請期間：令和3年12月21日～令和4年1月21日 実施事業：・宿泊割引 ・地場産品ノベルティ提供 | 地域ごとに組織されたホテル旅館組合等の団体に対し補助金を交付することにより、地域のニーズや特徴に応じた誘客事業の実施を支援することができた。 |
| 5 | 文化活動事業継続支援補助金 | 市内会場にて文化活動を実施する事業者が、ガイドライン等に基づき感染症対策を講じるための補助金の交付 | R3.4 | R4.3 | 2,165,000 | 交付件数 63件 | コロナの影響を受けながらも適正に文化事業を実施している者に対し補助をすることで、コロナにより停滞した文化活動の再開・継続を支援することができた。 |
| 6 | スポーツイベント緊急支援事業費補助金 | 入場者数の制限を受けるスポーツイベントの施設利用料金に対する一部助成 | R3.4 | R4.3 | 1,308,395 | 交付件数 3件 | 入場料等を徴収するスポーツイベントの開催を支援することにより、市民の「観るスポーツ」の機会を維持することができた。 |
| 7 | 新型コロナウイルス感染症経済変動対策資金特別利子助成基金積立金（積増） | 県制度「経済変動対策貸付（新型コロナウイルス感染症対応枠）」の融資について、令和4年度から令和6年度までの3年間実質無利子となるよう利子助成を行うための積立金 | R3.10 | R4.3 | 148,486,488 | 静岡市経済変動対策資金特別利子助成基金へ積立て実施 | 新型コロナウイルス感染症対策特別利子補給事業と同一。 令和6年度までの必要な経費を積み立て、財源として活用する。 |
| 8 | 中小企業事業高度化事業補助金 | 「新商品の開発及び生産又は新たな役務の開発及び提供」若しくは「10%以上の生産性の向上」が見込まれる機械設備の購入に係る経費に対する一部助成 | R3.4 | R4.3 | 61,349,000 | 補助金交付件数 25件 | 機械設備の購入にかかる経費の一部を助成することで、競争力の強化や高付加価値に積極的に取り組む市内中小製造事業者の支援をすることができた。 |
| 9 | 中小企業等デジタル化支援事業 | ポストコロナにおいて新しい生活様式への変容が進む中、生産性向上並びに販路拡大を目指し、市内中小企業が管理面・販売面等のデジタル化に取り組む費用に対する一部助成 | R3.10 | R4.3 | 29,188,286 | 令和3年度 中小企業等デジタル化支援事業 ・申請件数：127件 ・採択件数：74件 | 新型コロナウイルス感染症に起因するビジネスモデルの変化に対応する市内中小企業のデジタル化が進んだ。 静岡商工会議所からはコスト負担を理由にIT投資が出来ない事業者の投資促進に繋がり、中小企業の生産性向上に繋がったと評価を受けている。 静岡県中小企業団体中央会から、中小企業組合のIT化の一助となっていると評価を受けている。 |
| 10 | 地域消費促進キャンペーン事業 | 対象店舗において、1,000円以上の買物につき1枚抽選券を配布し、抽選で市内の地場産品等をプレゼントするキャンペーンの実施 | R3.10 | R4.3 | 97,319,723 | 抽選回数 約60万件 景品数 約18,000個 | 一定金額のお買い物で抽選に参加できるキャンペーンを実施することで、地域の消費を促すことができた。 |
| 11 | 静岡市農産物地産地消拡大事業 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響で売上が減少した市内農産物（わさび・花き・観光石垣いちご）の地産地消の拡大に向けた農産物の配布等の実施 | R3.10 | R4.3 | 4,562,325 | ○わさび 店舗でのわさびの提供やメニュー化を検討してもらおうよう、市内産わさびを配付（参加飲食店49店） ○花き 本市に婚姻届を提出した方に対し、市内生花店で花束と交換できる引換券を配付（花束引換枚数271枚） ○いちご狩り 本市に転入した方に対して、観光いちご狩りの招待券を配付（チケット使用枚数511枚） | コロナの影響により末端需要が減退した市内農産物（わさび、花き、石垣いちご）について、本事業を通じて新規取扱店の開拓や市内農産物の魅力再発見を促すことにより、今後の地産地消の拡大に繋ぐことができた。 |
| 12 | 「静岡市のお茶」愛飲促進事業 | 市内小中学校への給茶機の設置 | R3.11 | R4.3 | 4,471,280 | 市内7校の小中学校に給茶機を設置した。 【設置校】 小学校4校（田町小学校、賤機南小学校、清水辻小学校、清水飯田東小学校） 中学校3校（東中学校、清水第六中学校、清水飯田中学校） | 学校現場に免疫調整機能や殺菌作用があるお茶をいつでも飲むことができる環境を整備することにより、子ども達の愛飲促進及び健康増進を図ることができた。 |
| 13 | 中小企業アクセラレーション支援事業（DX） | 成長意欲のある企業に対する、個社の経営課題に応じた支援体制による「個別解決」及び「集中・徹底的」な伴走支援事業の実施 | R3.6 | R4.3 | 2,310,000 | 令和3年度中小企業アクセラレーション支援事業（DX） ・伴走支援した企業数：3者 | コロナ禍において、地域経済をけん引する力を秘めた本市の産業特性にあった戦略産業のDX推進につながった。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費（円） | 実施状況 | 効果検証 |
|----|--------------------------------|---|----------|----------|-------------|--|--|
| 14 | モバイル決済サービスを活用した地元消費拡大促進事業 | 市内におけるモバイル決済サービスを利用して支払をした場合に、ポイントバックを受けられるキャンペーンの実施 ○実施期間 令和3年11月19日から12月18日まで（1か月間） ○対象店舗 市内加盟店（決済機）約9,100か所 ○補助率 利用者1回あたり支払額の20%（上限1,000ポイント）（補助上限額：期間中のポイントバック上限は5,000ポイント） | R3.9 | R4.2 | 444,423,308 | ポイント還元額：420,044,807円 | キャンペーン実施により経済効果は約34億円となり、新型コロナウイルス感染症の影響により冷え込む消費活動の拡大が図られ、市内中小店舗を支援することができた。 |
| 15 | 中小企業等事業継続強化事業補助金 | 事業継続計画等に基づく新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に資する設備・機器の導入等を行う事業に対する一部助成 | R3.8 | R4.3 | 94,373,000 | 補助金交付件数 174件 | 事業継続計画等の策定に加え、感染拡大防止に向けた設備・機器の導入等の対策経費の助成を行うことにより、市内中小企業者の新しい生活様式に対応した企業活動の支援をすることができた。 |
| 16 | 再就職緊急サポート事業 | 感染症の影響により離職や収入減となってしまった方に対する、座学研修から職場実習、カウンセリング、マッチングまでの伴走支援の実施 | R3.8 | R4.3 | 28,623,550 | 受講者数：49人 報償金交付額：2,228千円 | 49人の受講者を支援することで、うち26人が再就職することが出来た。 |
| 17 | 地域消費促進事業補助金 | 商店街団体等が実施する、クーポン発行による消費促進事業に係る経費に対する一部助成 | R3.7 | R4.3 | 44,286,552 | 支給団体 15団体 | 助成により、市内において多くの消費促進事業が実施された。 |
| 18 | 静岡市インフラ分野のDX推進検討業務 | インフラ分野業務において、業務の効率化や働き方改革を目指し、データやデジタル技術の活用によるDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進するためのプランの策定 | R3.12 | R4.3 | 3,223,000 | ・DX最新技術の把握 ・庁内既存システムの把握調査 ・庁内業務課題のアンケート調査 | インフラ分野における課題の調査や関係部局へのアンケート調査により、ウィズコロナ時代における業務課題について把握し、解決の方向性を見出すことができた。 |
| 19 | 道路関係データ取得活用事業 | 公用車の車載カメラの画像や位置情報データの活用技術の実装 | R3.10 | R4.3 | 7,243,640 | 公用車走行実態調査実施：4,743,640円 共同研究負担金支出：2,500,000円 | 公用車の走行データの有効性を示し、道路損傷箇所の画像分析による抽出技術の確立に向けた産官学による道路DXの取り組みを推進した。 |
| 20 | 障害者災害時体制強化事業 | 新型コロナウイルス感染症への対策を踏まえた、災害時における避難計画の策定や避難所の受入体制の強化 | R3.7 | R4.3 | 1,221,200 | ・避難計画（個別計画）策定 51人 ・指定避難所へのわかりやすいサインの配備 258か所 ・地域の防災訓練へのアドバイザー派遣 4か所（5回） ・福祉避難所へのアドバイザー派遣 6か所 | コロナ禍を踏まえた個々の避難計画を策定することにより、多様性の高い障がいのある人の避難行動の確認をすることができた。今回のモデル事業で得られた内容を広く活用していく。各避難所へアドバイザーの派遣やサインの配備を行うことで、コロナ禍を踏まえた避難所運営を確認することができた。 |
| 21 | 介護認定審査会費（オンライン審査会の開催） | 介護認定審査会のオンライン開催 | R3.8 | R4.3 | 470,550 | 2区（6合議体）で実施 | オンラインで開催することにより、ポストコロナを見据え介護認定審査会を円滑に運営することができた。 |
| 22 | 高齢者新型コロナウイルスワクチン接種移動支援事業 | 高齢者（65歳以上）のワクチン接種のための移動手段の確保 | R3.4 | R4.3 | 12,617,500 | 運行回数（利用回数）25,235回 利用者数 10,426人 | 接種会場への移動手段確保が困難な多くの方に利用していただくことができ、接種率の向上に寄与した。 |
| 23 | 飲食店第三者認証制度早期登録奨励金支給事業 | 感染防止対策を継続的に講じた飲食店に対する奨励金（1店舗あたり5万円）の交付 | R3.6 | R4.3 | 176,855,937 | 奨励金交付件数 3,340件 | 県認証制度への登録を促進したことにより、市内飲食店の早期の感染防止対策の実施及び飲食店におけるクラスター発生の減少に貢献することができた。 |
| 24 | 保護施設等衛生管理体制確保支援等事業費 | 保護施設等が感染拡大防止のための衛生用品の購入経費や感染症発生時の施設内の消毒経費に対する助成 | R3.7 | R4.3 | 1,200,000 | 補助金交付先：3件（交付率100%） ①静岡市救護所、②葵寮、 ③静岡市社会福祉協議会 | 適正に事業を実施し、コロナ影響を受けている事業者に対して支援をすることができた |
| 25 | 救護施設事業継続支援等補助金 | 保護施設職員が安心して職務に従事するための取組への支援に対する助成 | R3.7 | R4.3 | 498,960 | 補助金交付先：2件（交付率100%） ①静岡市救護所、②葵寮 | 適正に事業を実施し、コロナ影響を受けている事業者に対して支援をすることができた |
| 26 | 公立学校情報機器整備費補助金 | 教員の授業力の向上のための支援や、小学校における学習用情報端末等の整備 | R3.6 | R4.3 | 70,130,500 | ・市内の小中学校に総計1,000日の訪問支援を実施するICT支援員を配置 ・小学3年生分の学習用端末（4,863台）、学級数分の指導用端末として、小学校（1,264台）、中学校（538台）を配備 | ・ICT支援員が学校を訪問することにより、教育支援体制を整えることができた。 ・小学3年生分の学習用端末を各校に配備することにより、小学3年生の端末利用を開始することができた。また、学級数分の指導用端末を配備することにより、小・中学校におけるICTを活用した教育活動を促進することができた。 |
| 27 | 学習用情報端末整備事業 | 小中学校における学習用情報端末の整備 | R3.12 | R4.3 | 421,602,830 | ・小学1年生分（4,778台）、小学2年生分（4,756台）、学級担任外の授業を行う教員分として小学校（360台）、中学校（375台）の端末を購入 ・端末故障時、修理費が端末代金を上回る場合の交換用端末として650台を購入 | ・小学1、2年生及び学級担任外の授業を行う教員分の端末を購入することにより、設定作業、各校での使用開始に向けた準備態勢を整えることができた。 ・端末故障時の交換用端末を購入することにより、今後の端末故障・破損時に円滑に対応できる体制を整えることができた。 |
| 28 | 公共施設の休館等に伴う指定管理者への支援事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響（指定管理施設の休館や利用制限等の措置）を反映した適正な指定管理料の支払い | R3.4 | R4.3 | 303,144,017 | 27団体に支援を実施 | 感染症対策に十分に配慮し、かつ安定的な施設運営ができた。 |
| 29 | 早生広葉樹導入可能性調査事業 | 木材価格の高騰による市内木工事業者への影響に対応するための早生広葉樹の活用可能性調査の実施 | R3.10 | R4.3 | 6,199,600 | ・木工及び林業事業者へのヒアリング ・九州及び神戸等の先進地調査 ・調査結果の解析及び取りまとめ | 適正に事業を実施し、早生広葉樹に関する知見を得ることができた。 |
| 30 | 新型コロナウイルス感染症経済変動対策資金特別利子助成（追加） | 県制度「経済変動対策貸付（新型コロナウイルス感染症対応枠）」を利用して受けた融資について、当初3年間実質無利子とするための利子助成 | R3.10 | R4.3 | 3,307,882 | 令和3年度特別利子助成事業 2,109件、646,908千円 | 実質3年間無利子の融資制度としており、新型コロナウイルス感染症を起因とした経営悪化による資金繰り悪化に対して、金融支援を行った結果、市内中小企業の事業継続に寄与した。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費（円） | 実施状況 | 効果検証 |
|----|--|--|----------|----------|-------------|---|--|
| 31 | 産業支援施設機能強化事業 | 静岡市産学交流センター及び静岡市清水産業・情報プラザの音響設備の更新 | R3.11 | R4.1 | 9,108,000 | 静岡市産学交流センター及び静岡市清水産業・情報プラザの音響設備をデジタル式に更新した | 音響機器の更新により、オンライン会議の際も音声トラブルがなく利用ができるようになった。 |
| 32 | 事業者応援金支給事業 | 「まん延防止等重点措置」及び「緊急事態措置」の影響を受け、売上が減少している事業者に対する応援金の支給 | R3.9 | R4.3 | 131,254,889 | R4.3支給完了 交付件数：1,711件 交付金額：116,043千円 | 適正に事業を実施し、売り上げが減少した事業者を支援することができた。 |
| 33 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 児童生徒の安全な学習環境を整備するために必要な衛生用品等の購入及び学習保障の取組の実施 | R3.5 | R4.3 | 18,745,935 | 小中高等学校における衛生用品、空気清浄機等の購入 | 学校での感染対策や学習保障にかかる経費として柔軟かつ広範囲に活用することができ、児童生徒の学びを確保した。 |
| 34 | 公的病院事業費補助金 | 公益法人が開設する公的病院である救急告示病院（24時間365日救急車の受入を行う旨県知事に届出をしている病院）が新型コロナウイルス感染症に対する救急医療の追加支援に必要な経費の助成 | R3.4 | R4.3 | 40,000,000 | 補助金交付件数4件 | 公益法人が開設する公的病院である救急告示病院への助成により、本市救急医療体制を維持できた。 |
| 35 | 駿河湾フェリー運航事業負担金 | 地域に大きな経済効果をもたらす重要な社会インフラである駿河湾フェリーの運営支援 | R3.4 | R4.3 | 39,100,000 | 令和3年度輸送人員 80,717人 | 静岡県及び静岡市を含む3市3町で支援を行い、駿河湾フェリーの運航を継続することができた。 |
| 36 | 全国大会等開催補助金 | 会議・大会等の主催者に対する開催経費の一部助成 | R3.4 | R4.3 | 9,743,000 | 補助金申請件数 19件 補助金交付件数 18件（1件はコロナにより中止） | 補助金を交付した大会の宿泊者数の合計が、10,183人にのぼった。 |
| 37 | 東海道歴史街道まち歩き推進事業 | 東海道歴史街道で育まれ根付いてきた地域資源を活用した、本市ならではの街道観光の確立 | R3.7 | R4.3 | 9,800,840 | ①しずおか東海道ご縁めぐりスタンプラリーの実施（年度内） ②駿河東海道おんばくの実施（令和3年10月16日～11月28日） | ①マイクロツーリズムを意識した取組を強化し、スタンプラリーに必要な「はんかち」の販路を拡大したことで、直近3か年では最大値となる779枚を販売し、多くの者の参加を促すことができた。 ②コロナ禍での開催となったが、少人数や小規模のプログラムでも参加できるよう事業者のプログラム造成を支援し、前回（R元）と同数のプログラム数を確保することができた。 |
| 38 | 東海道歴史街道まち歩き推進事業食文化・自然等を活用した街道観光プロモーション事業 | 東海道の起点である日本橋における、しずおか中部連携中枢都市圏（5市2町）の特産品や自然・文化をPRし、街道観光の推進 | R3.6 | R4.3 | 9,999,000 | ①「日本橋しずおか食堂」の実施（令和3年11月8日～12月7日） ②「しずおか東海道展」の実施（令和3年11月8日～12月7日） | ①日本橋地区の老舗飲食店18店舗が事業に参加し、40件のメディアに掲載されるなど、首都圏における高いプロモーション効果を得ることができた。 ②通行量の多い会場（東京メトロ三越前駅コンコース）での展示により、多くの者に情報発信することができた。 |
| 39 | 東海道歴史街道まち歩き推進事業費 蒲原宿における情報発信事業 | 国登録有形文化財である志田邸及び街道文化等の情報発信 | R3.4 | R4.3 | 1,332,100 | 管理団体への業務委託 1件 | コロナ禍で来館者が減少傾向にある中、館内における情報発信を強化し、来館者へのアンケート結果では、「よかった」「また訪れたい」との高い評価を得ることができた。また、地元の小学校の授業の一環として、ガイドツアーに協力する等、地域住民の郷土愛の醸成につなげることができた。 |
| 40 | 静岡型体験観光推進事業費補助金 | 首都圏等からの修学旅行の誘致に向けた近隣県の教職員及び教育委員会に対するモニターツアーの実施 | R3.4 | R4.3 | 3,929,000 | 【教職員向けモニターツアー】 ・実施日 4/27～4/28（1泊2日） ・参加者 28名（東京都八王子市教職員） 【教育旅行誘致活動（1回目）】 ・実施日 4/9 ・訪問先 東京都八王子市 【教育旅行誘致活動（2回目）】 ・実施日 12/14～12/15 ・訪問先 山梨県、東京都、神奈川県 | モニターツアーを実施することにより、参加者に現地を実際に視察いただき、本市の魅力PRすることができた。誘致活動では、現地視察が難しい小学校、教育委員会に対して、教育旅行の適地としての周知を行った。結果として、モニターツアーに参加した学校のうち24校は令和4年度の修学旅行も引き続き本市にて実施予定で、1校は令和4年度から新しく本市に招請することができた。 |
| 41 | 事業承継促進事業 | 後継者問題を抱える企業の事業承継に係る支援の実施 | R3.4 | R4.3 | 5,665,000 | ・相談対応数：66社 ・専門家派遣回数：37回 ・セミナー開催数：1回 | 後継者問題を抱える企業への支援により、次世代に技術やノウハウを引き継ぐとともに、雇用を確保し、市内経済活動への貢献を続けることにもつながった。 |
| 42 | IT導入に向けた生産性向上支援事業 | 中小企業及び小規模事業者に対するIT導入に向けた相談体制（ワンストップ相談窓口）の構築・運営 | R3.4 | R4.3 | 6,319,500 | ・相談件数：480件 ・専門家派遣回数：12回 ・セミナー開催数：4回 | IT導入に向けた相談体制を整えるとともに、ITリテラシーを向上させることで、中小企業及び小規模企業の「生産性向上」機運を高め、コロナ禍における「新たな生活様式」に付随した企業活動の維持・発展に寄与した。 |
| 43 | 戦略産業推進事業費 （ホビー産業育成支援事業） | 本市固有資源であるプラモデルを核としたホビー産業に係る情報発信やブランディングに資する取組の実施 | R3.12 | R4.3 | 2,846,646 | しずか力における「ホビーのまち静岡クリスマスフェスタPR」展示の実施 静岡ホビーショーのPRを中心とした模型の世界首都静岡PRイベント「ミナトホビーフェス」の開催 模型の世界首都静岡PRパンフレットの作成 | 前年度コロナ禍で中止となった静岡を代表するホビーイベント「クリスマスフェスタ」のPR展示を実施。クリスマスフェスタ当日は、来場者数3万人と令和3年に開催したホビーイベントとしては、最大級のイベントとなり、ホビーのまち静岡のPRに繋がった。また、ミナトホビーフェスによる静岡ホビーショーのPRを通じて、静岡ホビーショーは、一般公開日の事前予約が定員に達し、当日は大勢の来場者でにぎわい、模型の世界首都静岡のPRに繋がった。 |
| 44 | 若年労働者雇用対策事業費 | 就職活動開始前の若者を対象とした、市内企業の情報発信や交流機会の創出 | R3.4 | R4.3 | 14,547,940 | ・大学生向け市内で働く魅力発見交流会：4回 ・女子学生と女性社員のUIターン就職促進交流会：1回 ・中小企業向けインターンシップ：1回 ・高校生向けキャリア形成支援事業：12校 | コロナ禍における企業の採用活動のオンライン化により、居住地に関わらず遠方の企業への応募が可能となる中で、就職活動開始前の若者の市内企業への就職関心度を向上させたことで、将来的な市内企業への就職が期待される。 |
| 45 | 農水産物消費拡大促進事業費 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた地元農産物の市内流通・消費の拡大を促進するための情報発信 | R3.4 | R4.3 | 1,623,330 | 産業フェアしずおか農業ゾーンの実施や旬の早見表の作成等 | イベント等を通じて、多くの市民に静岡市産農産物をPRすることができた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費（円） | 実施状況 | 効果検証 |
|----|---|--|----------|----------|------------|--|--|
| 46 | まちお茶おもてなし推進事業 | 11月1日の「静岡市お茶の日」周辺に、市内宿泊施設利用者に対し「お茶のまち静岡市」の一煎パックを提供するキャンペーンの実施 | R3.7 | R3.11 | 2,708,509 | 【配布数量】 ①3g入ティーバッグ 50,000袋 ②リーフ茶（100g入） 200袋 【配布方法】 市内宿泊施設43施設及び静岡飲食組合へ提供し、宿泊客や飲食店利用者への配布及び食事時等にお茶を淹れて提供した。 | 市内産茶葉170kgを消費することにより、コロナ禍で落ち込んだ茶葉の消費拡大に寄与するとともに、「静岡市のお茶」のPR、本市来訪者へのおもてなしの提供につながった。 |
| 47 | 「個性豊かな山のお茶」プロモーション事業 | 「個性豊かなお茶」の販売及びPRイベントの実施 | R3.4 | R3.5 | 1,389,850 | 5月22～23日の2日間、市内産新茶の販売及びPRイベントを実施した。 | 本市産のお茶を多くの来場者にPRし販売につなげることにより、コロナ禍で落ち込んだ市内茶葉の所得向上に寄与した。 |
| 48 | 「お茶のまち静岡市」プロモーション経費～JR静岡駅情報発信事業～ | JR静岡駅構内における「静岡市のお茶」に関する情報発信 | R3.4 | R4.3 | 1,544,400 | 年間を通じて、デジタルサイネージにより「静岡市のお茶」に関する情報を発信した。 | 「新茶シーズン」や「お茶の効能」など、時期に合った広告を掲出したことにより、市内内外のJR静岡駅利用者に対し、「静岡市のお茶」を広くPRすることができた。 |
| 49 | 水産業振興事業費 | 新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け減退した水産物の消費を呼び戻すための普及事業の実施 | R3.4 | R4.3 | 4,241,906 | ・ブランドロゴマーク制作・商標登録 1件 ・販売促進ロゴシール配布 市内111店舗 ・水産物普及促進動画制作・配信 1件 | 影響を受けている水産関係事業者の事業継続を支援することができた。 |
| 50 | オクシズ生活拠点形成事業 | 中山間地域における市民の暮らしを守り、生活の維持、継続ができる環境の構築 | R3.4 | R4.3 | 1,015,300 | 地域課題や現状を把握するアンケート調査 1件 | 地域アンケートを実施することにより、地域の課題や現状の把握と共有がはかられ、コロナ禍における自治会運営の検討に繋げることができた。 |
| 51 | 新型コロナウイルス感染症対応に係る職員時間外手当 | 新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充等により必要な常勤職員の時間外手当 | R3.4 | R4.3 | 59,853,722 | 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策業務に係る時間外勤務手当を支給した。 | 緊急的な感染症対策業務を円滑に進めることができた。 |
| 52 | 静岡型MaaS基幹事業実証プロジェクト」による実証実験に要する経費 | 利用者が状況に応じて、乗降パターンを選択可能なAIオンデマンド交通の運行 | R3.12 | R4.3 | 48,635,000 | ・総利用人数74名 ・総利用回数323回 ・サービス別利用回数 300円：94回 400円：195回 500円：34回 ・複数のサービスが選べることの満足度 80% | 移動の足に困る市民に対して新たな移動サービスを提供できた。また、アンケート調査を行うことで、本実験に関する満足度や課題感を把握することができた。 |
| 53 | 新型コロナウイルスによる社会経済等への影響実態・リニア開業後の影響予測調査の共同調査研究に係る経費 | 新型コロナウイルスの感染拡大に伴う本市社会経済への影響を把握するための各種調査研究等（文献調査、市内企業や大学等に対するヒアリングの実施、リニア中央新幹線の開業など将来想定される大きな環境変化に対応できる持続的なまちづくりの方向性の検討）の実施 | R3.4 | R4.3 | 4,000,000 | （一財）地方自治研究機構との共同調査研究の実施 | 新型コロナウイルスが社会に与えた影響について、産業、暮らし、学びといった視点から実態に即した調査を行うことができた。また、それらの情報を元に、本市の持つ強みや課題などを整理し、将来的に大きな環境変化が起こった際にも柔軟に対応できるまちづくりの方向性についてのアイデアを見出すことができた。 |
| 54 | 清水港後背地における地域経済の活性化検討事業 | 清水港後背地における地域経済の活性化の検討 | R3.8 | R4.3 | 9,900,000 | 調査検討委託業務の実施 | 本事業により、コロナ禍、ポストコロナも考慮した地域経済の活性化検討ができた。 |
| 55 | 中小企業海外展開支援事業（5市2町商談会） | 海外進出得雄希望する事業者の商品を使った、台湾の飲食店でのテストマーケティングの実施 | R3.6 | R4.1 | 2,530,000 | 参加事業者11社 採用商品数13品 | 台湾の飲食店で実際に商材を利用してもらうことで、商品の課題点や調書などを調査でき、海外向けの商品のフラッシュアップを行うことができた。 |
| 56 | 新商品等開発事業補助金 | 新商品の開発事業または自社商品の競争力向上のための改良事業に係る経費の一部助成 | R3.4 | R4.3 | 2,973,000 | 補助金交付件数 7件 | 新商品等の開発にかかる経費の一部を助成し、販路開拓を意識した商品開発を促進することにより、新商品開発を通じて経営力・販売力向上を目指す市内中小製造事業者を支援することができた。 |
| 57 | 大規模展示会出展等支援事業補助金 | 国内外の大規模な展示会へ出展を行う場合または国内外において大規模な展示会を開催する際の経費の一部助成 | R3.4 | R4.3 | 4,946,000 | 補助金交付件数 26件 | 国内外の大規模な展示会への出展等にかかる経費の一部を助成することにより、新たな販路の確立を目指す中小製造事業者の販路開拓を支援することができた。 |
| 58 | 地域就職氷河期世代支援加速化交付金 | 就職氷河期世代の就労や社会参加に係る支援の実施 | R3.4 | R4.3 | 39,312,900 | 支援人材・サポーター育成数119人 進路決定者数24人 | 支援プラットフォームを構築し、市内の各種支援機関と連携を図りながら事業を実施することで、進路決定者数が24人で、うち14人を就職につなげることができた。 |
| 59 | 商店街イベント振興事業補助金 | 商店街の活性化等を目的としたイベントを実施する商店街に対する経費の一部助成 | R3.4 | R4.3 | 8,689,450 | イベント数 28件 | 商店街団体が実施するイベントに対して補助することで団体の取組を後押しし、地域の賑わいを創出することができた。 |
| 60 | 戦略産業推進事業（海洋産業クラスター） | 「海洋産業クラスター協議会（平成28年5月設立）」のもとで、地域の産業界、国等研究機関、教育機関及び行政が連携し、海洋・水産関連産業における新事業の創出、既存産業の高度化を図るための事業の実施 | R3.4 | R4.3 | 9,153,131 | ・シンポジウムの開催 ・アドバイザーによるマッチング支援実施 ・人材育成事業実施 ・事業化研究プロジェクト5件実施 | 産学官の連携による支援ネットワーク体制の強化が図られ、共同研究が着実に進められている。 |
| 61 | ふるさと農力チャレンジ事業補助金 | コロナ禍で地域経済が停滞する中、農産物の生産・加工・販売までを行う6次産業化など新たな事業へチャレンジする農業者等に対する支援 | R3.9 | R4.3 | 2,000,000 | 補助金交付件数：6件 | コロナ禍において農業所得の維持・向上を図るため、6次産業化など新たな価値の創出に取り組む事業者を支援することができた。 |
| 62 | 茶産地総合対策事業補助金（製茶機械導入・更新事業） | 本市固有の資源である「山のお茶」の品質向上・生産性向上に向けた生産体制の整備 | R3.4 | R4.1 | 6,858,000 | 補助金交付件数：4件 | 適正に事業を実施し、コロナ禍においても「山のお茶」の生産に意欲的に取り組む共同茶工場を支援することができた。 |

| No | 交付対象事業の名称 | 事業概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費（円） | 実施状況 | 効果検証 |
|------------|---------------------------|---|----------|----------|---------------|---|--|
| 63 | 認定農業者・新規就農者育成支援事業補助金 | 地域農業の担い手の育成支援 | R3.6 | R4.3 | 20,915,000 | 補助金交付件数：43件 | 適正に事業を実施し、コロナの影響を受けている農家に対して、施設導入等の事業費の一部を助成することにより、地域農業の担い手を育成することができた。 |
| 64 | いきいき都市農業推進事業補助金 | 市街区区域農地で営農活動を行う販売農家に対する支援 | R3.5 | R4.3 | 18,372,879 | 補助金交付件数：112件 | 適正に事業を実施し、コロナの影響を受けている農家に対して、農機具等の購入費の一部を助成することにより、農産物の安定供給に寄与することができた。 |
| 65 | オクシズプロモーション事業費 | 本市が誇る中山間地域「オクシズ」の魅力発信 | R3.4 | R4.3 | 6,077,292 | ・オクシズHP、公式Twitterの運営 ・フリーペーパーへの広告掲載 5件 ・首都圏プロモーションの実施（東急ハンズ新宿店「オクシズ展」開催 R4.1.6～12） ・各種パンフレットの更新（ガイドマップ・市営温泉パンフ） | 各種取組みを実施することで、コロナ禍で地方に目が向けられてる状況の中、効果的なプロモーション活動を実施することができた。 |
| 66 | オクシズスポーツツーリズム促進事業費補助金 | スポーツを切り口とした地域振興イベントの支援 | R3.4 | R4.3 | 2,420,927 | 補助金交付件数3件 内訳 マウンテンマラソン大会（2022年プレ大会）、第7回水見色トレイルランニング、第5回両河内ロケニング | トレラン等の地域振興イベントを実施することで、広く中山間地域の魅力を発信し、観光需要が落ち込む中山間地域への誘客に繋げることができた。 |
| 67 | まちは劇場コンサート事業（文化振興課所管分） | 学校等におけるコンサートの開催 | R3.4 | R4.2 | 22,273,520 | 当該事業は下記の3種のコンサートで構成される。実施状況は以下のとおり。 ・学校訪問コンサート 実施8回 参加者数1,312人 ・子ども園訪問コンサート 実施18回 参加者数1,324人 ・親子コンサート 実施2回 参加者数1,859人 | コロナ禍において生演奏に触れる機会が減少する中、新たな生活様式の下で幼少期の子どもたちや子育て世代に機会の創出ができたことにより「まちは劇場」の推進につながった。 |
| 68 | まちは劇場コンサート事業(まちは劇場推進課所管分) | 市内で活動しているオーケストラ等と連携したオープンスペースでのコンサートの実施 | R3.4 | R4.3 | 7,454,400 | ・まちかどコンサート 実施回数：44回 来場者数：4,062人 ・Hotひといきコンサート 実施回数：8回 来場者数：777人 | コロナ禍において、演奏会などを実施する機会が減少する中、新たな生活様式に対応した環境下（十分な感染対策・オープンスペースでの開催等）での実施により、市民が文化芸術に触れる機会の提供、及び演奏者の発表機会の確保を図ることで、「まちは劇場」の推進につながった。 |
| 69 | 障害者福祉施設等整備事業費補助金 | 入所施設等において多床室の個室化改修等を行う事業所に対する整備費の助成 | R4.2 | R4.3 | 6,247,000 | ・対象事業所：社会福祉法人 玉柏会 ・対象施設：穴原荘 ・補助率：対象経費×3/4 | 入所施設等において多床室の個室化改修等を行う事業所に対し補助を実施することにより、入所者等の感染リスクの軽減を図ることができた。 |
| 70 | 環境保健研究所機器整備事業 | 変異株ゲノム解析検査可能数を増やすとともに、効率よい検査体制を整備するためのリアルタイムPCR装置、次世代シーケンサー等の増設 | R4.2 | R4.3 | 11,677,974 | リアルタイムPCR装置、次世代シーケンサー、超低温フリーザー、高速冷却遠心機等を購入 | 次世代シーケンサーの増設により、これまで1日当たり10検体程度であった変異株ゲノム解析検査可能数を最大20検体に増やすことができた。また、リアルタイムPCR装置の増設により、陽性確認検査と、変異株スクリーニング検査や他の病原体の検査（特に突発的・緊急を要する依頼）等を並行して行うことができるようになり、効率よく検査を行う体制を整えることができた。 |
| 71 | 清水病院事業補助金（コロナ対策分） | 清水病院に対する新型コロナウイルス感染対策に要した掛かり増し経費の助成 | R3.4 | R4.3 | 9,512,000 | 体温測定等の新型コロナウイルス感染対策強化に係る経費を助成 | 病院玄関で来院者の受付・検温を行うことにより、病院内でのクラスター発生を抑制し、診療機能を維持することができた。 |
| 72 | 宿泊施設認証制度早期登録奨励金支給事業 | 期間中に、静岡県による「ふじのくに安全・安心認証（宿泊施設）制度」の認証を受けた市内宿泊施設に対する奨励金を交付 ○奨励金額 5万円/施設 | R3.8 | R4.3 | 5,300,000 | 交付件数：106件 申請期間：令和3年8月23日～令和3年12月28日 | 県による認証制度と連動した奨励金交付により、市内宿泊施設のうち多数が早期の認証取得を果たし、安心・安全な受入環境を構築することができた。 |
| 合計 | | | | | 2,683,511,425 | | |
| うち臨時交付金活用額 | | | | | 2,310,417,000 | | |